



## アンジュンガンの ATI 神学校生

### ウミ・プルワンティさんの便り

シャローム

(第 65 号 2 ページ参照)

気づけばもう 5 年生(9 学期目)で、時の経過の早さにびっくりします。私は元気に ATI 神学校での学びを続けております。学ぶべきことをしっかり学べるようにお祈りをいたします。

皆様の祈りとサポートがなければ、とても今までの学びを続けることができませんでした。今日まで、5 万ルピア(約 350 円)のコピー代などの小遣いも含めて、毎月滞ることなく学費をサポートしていただいております。イエス・キリストの祝福が皆様の上にあるようにと祈られます。

この 6 月から 7 月初旬の 6 週間は伝道実習月間で、私はスラウェシ島北のメナドの近く、ピトゥンというところへ、チームで伝道旅行に行きました。奉仕を通していろいろ新しい経験をすることができ、とても楽しかったです。神さまの畑の広さを見て、ますます伝道の熱い思いが与えられました。教会学校の奉仕、中高生キャンプ、教会での諸集会、祈り会などの奉仕をしましたが、教会員の方々、そして地域の方々には本当に歓迎して下さって、霊的に飢え乾いていると感じました。

私の将来の働きへの希望ですが、今は中央カリマンタンのプリト北部のことを祈っています。とても広いこの地域には、まだ福音が十分に伝えられていませんし、働き人もまだまだ足りない状態です。教会員がいても彼らを霊的に導くリーダーがいないので、彼らは名だけのクリスチャンにとどまっています。家庭の問題が多く、離婚、低年齢の結婚、若者の性モラルの低下は年々ひどくなっています。教会や学校で聖書が教えられていないことも、大きな原因であると思います。教会学校もなく、小・中・高校で宗教の時間にキリスト教を教える教師もいないのです。私は教会学校、カウンセリング、そして教育を通してこの地域に仕えていきたいと願っています。ATI 神学校を卒業したら、続けて心理学を学びたいとも願っています。皆様のご支援を感謝いたします。

皆様の上に神様の豊かな祝福がありますよう、お祈りしています。

感謝と祈りを込めて、ウミ・プルワンティ

## 昨年からの奨学生、インマヌエル中学校の 1 年生 7 名をご紹介します



私はサウミ、14 歳、シンタンのバウンフル 教会員の娘です。私が住んでいる村から学校への交通は大変不便です。私の村では教育についての考え方が進んでいません。私の両親を含めて、教育を受けていない人や古い考え方がまだ多いからです。肥えた土地もあり資源もあるのに、耕作方法を理解していなかったりして収入が低いのも原因でしょう。村人にはタバコやお酒の飲みすぎの悪い習慣があり、そのせいか子供たちの教育の理解と協力が欠けています。子供たちがよい教育を受け、将来自分の村の役に立つようになると

よいと思います。クリスチャン パートナーズの皆様のお祈りとご支援を心から感謝いたします。



私はマルタ・カロリーナ、1995年にシントン・マルカ市でカトリックの家庭に生まれました。将来は医者になりたいです。私の両親は他の村人と同じように小学校までしか教育を受けていません。二人とも農業で生活していますが、村は肥沃でないので田や畑を耕すのは難しいです。それに、村から町への交通の便も悪くて村民たちの生活は一向に良くなりません。私の村では信仰に対してあまり興味がありません。でも、私は学校で一般教養や宗教教育を受けることができます。本当に幸せなことです。私は学校の寮に住んでいますが、規律正しい

クリスチャンとしての生き方も教えられています。

スポンサーの皆様、私のために援助してくださって心から感謝いたします。どうか無事に学校を卒業することができるように、祈ってください。



私はディディ・ワユディです。1994年にケバウン村で生まれました。両親はセバウンインドネシア福音ミッション教会の会員です。教会で指導を受け実行し、牧師を通して神様の前で罪深い私をお赦しただくために懺悔しました。イエス・キリストを神の子として、私自身の救い主として受け止めることができました。

み言葉が伝えるように、私も信仰の大切さを知り、学校でも寮でも精神的活動に積極的に参加するようになりました。私の両親は小学校教育しか受けていませんし、耕作地が良くないので生活が苦しく、私の学費を十分に払うことができません。教会ではいろいろの活動をしていますが、昔からの悪い習慣を捨てない村人はまだ沢山います。

皆様のご支援のおかげで、私は大変幸せです。皆様のお優しい心に感謝いたします。無事に卒業できますように、お祈りください。

(他2名の紹介は次号に)

【理事会報告】第149回理事会は2007年11月26日(月)一ツ橋学士会館で開催。前回議事録承認。2007年9・10月度会計報告承認。「通信」第74号の内容は高橋宣教師からの奨学生についての情報を中心に原案を次回理事会で協議。ガーナへの送金は銀行経由で実行。里親 里子リストの異動。リーフレット改訂版について協議。ミゾラム関係の情報をカナダPIに要請する。援助金の「受領先別実績確認表」を草野理事作成。

第150回理事会は2008年1月28日(月)一ツ橋学士会館で開催。前回議事録承認。2007年11・12月会計報告承認。送金遅延者への対応協議。ガーナへの第2回送金は未到着との報。[通信]第74号原案承認。里子グループ1減、里親数維持。リーフレット改訂版につき創林社と話し合い、内容文は次回協議。ミゾラム関係の情報をカナダPIに再度要請。ペナンで9月開催のCEO会議に草野・竹澤理事出席予定。

### お詫びと訂正

第72号4ページ右下の写真説明《森本元宣教師のお嬢さんとデヴィさん》は《ケジア・カルティカさん》の間違いでした。又、第73号4ページの《デヴィさんの職場 イカの高校》は《カルティカさんの職場 インマヌエル高校》でした。カルティカさんの愛称がイカで、数学と電子工学を教えているそうです。(第67号参照)

<編集後記> インドのコルカタ(カルカッタ)の洪水に9月に支援金を送りましたが、その後もバングラディッシュのサイクロン(台風)被害や、ケニヤの大統領選挙後の混乱のなかで苦闘する同労者のニュースが伝わってきています。私たちは小さな団体で、全ての要請に応えられませんが、祈りの中に覚えていただきたいと思ひます。

新しい年もすでに1ヶ月余過ぎました。当分寒さが続きそうですが、くれぐれもお大事に。鳥海百合子